

夢創造

校内持久走大会。一人一人の頑張る姿が、とてもすてきでした。



令和元年10月28日（月）no.2 | 文責：上田

学園生の活躍に思うこと 「理想の自分」へ

今年は“県大会出場”を果たす学園生たちを紹介する機会が何度となくあります。「少年の主張」や中体連陸上、野球部味岡旗大会、そして24日（木）に行われた英語暗唱大会（後述）などです。前期課程の学園生たちも校外での水泳記録会や中北部音楽祭などで学園生の励みとなる活躍を見せてくれています。

今回は学園教育目標『仲間とともに歩み、夢をつむぐ産山学園生の育成』についてどんな学園生たちの姿を求めたいのかについてお伝えします。

さて、子どもたちに限らず私たちには「承認欲求」があります。他の人に認められたいという思いです。しかし、承認欲求にしばらくされると、子どもたちであれば「怒られたくないから宿題をする」「すごいと言われたいからがんばる」ということになりかねない、評価を気にしすぎる危うさがあります。そうすると自分らしさがなくなり、本当にやりたいことが見えなくなります。もちろん周りの期待は自分を勇気づけることは確かですが、期待を満たすために頑張るということでは目的を見失うことになりかねません。誰かの期待ではなく自分が信じることのために頑張るということが大切です。2nd・3rdステージ頃の思春期の子どもたちであれば、他者の評価ではなく自己実現を果たしたいという思いを強く抱くことが大切です。

さて、“県大会出場”などの校外での活躍をお伝えしています。競争して勝敗がつくことは当然のことですが、決して勝敗は相手との上・下の関係ではなく、勝っても奢ってはならず、負けても劣等感を持つことはありません。人の成功＝自分の負けではありません。上をめざしたいという思いは自分に向けられなくてはなりません。「健全な劣等感」とは、他者との比較ではなく「理想の自分」との比較から生まれるものだと、心理学者のアドラーが『嫌われる勇気』の中で書いていますが、周りの人は歩みの違いはあっても敵ではない、仲間ということでしょう。結果にだけ執着することは戒めなくてはならないと思いますが、いかがでしょう。

『仲間とともに歩み、夢をつむぐ』学園生がそれぞれのゴール、夢に向かって、互いを認め合う、信頼し合う中で自分の居場所を見つけ、学級・学園の一員として高め合う貢献ができればと願っています。

先週末の校内駅伝大会で、こんな一場面がありました。8年生の男子がコースの途中、応援のないところできつそうに歩き出しました。私が「息が整ったら走り出

すんだよ」と声をかけると、しばらくして彼はまた走り出しました。彼は彼らしく走っているんです。私は、自分と向き合って走り出した彼を心から応援したくなりました。結果を残すことも大切ですが、自分らしく精一杯努力している子どもたちを応援したいと思います。

郡市英語暗唱大会 練習の成果を発揮

24日(木)、青少年交流の家で行われた阿蘇郡市中学校英語暗唱大会で、学園7年生(岡田水生・工藤佳明・森本優菜)、8年生(岩下蓮士・高橋 琳・酒井陽光)、9年生(工藤心悟・森本清斗・井千拓)が出場し、8年生が1位、7年生が2位に入賞しました。8年生の3人は11月中旬の県大会に出場します。

入賞を逃した9年生ですが、森本君は7・9年で、工藤君は8・9年で、そして井さんは7・8・9年で郡市大会に出場し、8年生時には県大会も経験し、素晴らしい体験を重ねてきました。産山学園生らしさを十分に発揮してくれました。

ところで、先週、県大会に引率してもらう先生を誰にしようかと指導にあたっている井先生に相談すると、「ジェームズ先生には是非行ってもらえませんか。子どもたちの指導で頑張ってもらったので。」という話がありました。ALTのジェームズ先生は、郡市大会に向け、英語科の井先生・矢野先生と朝や昼、放課後の練習で指導を続けてくれました。大会で頑張りたいという子どもたちを親身に指導してくれました。そんなジェームズ先生にとって県大会が指導に役立つ機会となればと思い「行ってもらいましょう」と井先生には応えました。



今年も絵画で入賞が多数

今年も絵画コンクールでの入賞者が多数でています。

【「恐竜の絵」コンクール】

《銅賞》3年 碓井ひより

《佳作》1年 山内りゅう 2年 井みずき 3年 井ののほ

4年 宮川なな 5年 飯野すみれ 6年 加藤ほのか・酒井ゆうせい

【クミアイプロパン絵画コンクール(県大会)】

《特選》1年 三井ゆうと 2年 畠中れな・井みずき 4年 山内れいた

《佳作》1年 井すいじろう・市原はるま 2年 宮川ちさと

4年 宮川なな 5年 井ななみ

土曜授業 校内持久走大会 ご声援ありがとうございました

26日(土)の校内持久走大会にはご家族、地域の大勢の皆さんに応援をいただきありがとうございました。子どもたちの力走をご覧いただけてうれしく思っています。